



ひとりだち

可児市立西可児中学校



R7 校報第9号

令和7年11月30日



心を響かせ、心を繋ぐ

特別支援主任 稲越 智子

西可児中学校には、「協友祭（きょうゆうさい）」と「響繋祭（きょうけいさい）」という2大行事があります。これは、もともと西可児中学校にあった体育祭と音楽会という2つの行事を、より自分たちらしいものにするために、先輩たちが一生懸命考えて決めた心のこもった行事です。

特に今月19日に行われた「響繋祭」については、2年前、「仲間と心と音を響かせ、仲間と心と音を繋ぐ合唱を創りたい」という生徒会の強い思いから立ち上がりました。私は西可児中学校に来て3年目になりますが、今年のこの行事に向かう温度は例年以上に高く、子どもたちは日々熱心に練習に取り組んできました。合唱には、人の心を動かす力があると日々感じていますが、それはきっと、思いや性格の異なる一人一人が一つの作品を作り上げるという、とても大変だけれど、とても幸せな過程がそうさせるのだと、子どもたちの姿を見ていて実感します。夏休み前から伴奏や指揮を練習する子、休み時間にも自分の学級の歌を口ずさみながら歩く子、仲間と気持ちがぶつかり合い、悩みながらも必死で仲間に語りかける子…その一つ一つの子どもの頑張りが美しいハーモニーとなって西可児中学校の校舎に響き渡るこの時期が私はとても好きです。例え同じ曲であっても、一つとして同じ合唱はありません。今年も取組の過程で、たくさんのドラマが生まれました。子どもたちのここまでの努力が、ala（アール）の舞台での素晴らしい合唱に繋がったのだと思います。「心を響かせ、心を繋いだ合唱」が、また次の世代へその次の世代へと引き継がれていきます。合唱を通して、脈々と受け継がれてきた西可児中生の「心」を未来に繋いでいくこの行事をこれからもずっと大切にしていきたいです。

西可児中学校「響繋祭」

